

令和7年度 第6回生坂村ゼロカーボン推進プロジェクト会議録

日 時：令和7年9月22日（月）13時30分

場 所：村民会館講堂

村長より

- ・9月定例議会でやまなみ荘の改修工事と小水力発電事業の請負契約締結に係る議案の承認をいただき、今年度これから動き出す。それぞれ計画に沿って竣工に向けしっかりと取り組んでいきたい。
- ・効果促進事業も、赤とんぼフェスティバルにおいて松本山雅のご協力をいただきながら、しっかりと脱炭素に向けての取り組み等を啓発して参りたい。
- ・今年度の省エネ機器の導入補助が当初予算の上限額に達したため、募集は締め切りをするが、令和8年度も当初予算の承認をいただければ、同程度の金額で補助を進めていきたい。今年度はまだ木質バイオマスストーブと断熱改修関係等の補助は余裕があるので、12月末までは継続して行う予定。その他の協議事項についても、忌憚のないご意見をお願い申し上げます。

【協議事項】

○効果促進事業について

- ・10月18日（土）赤とんぼフェスティバルで行う効果促進事業における、キッチンカーでのEV車の電気を利用した焼き肉、日産サクラの試乗体験、アンケートの実施、太陽光発電に関する相談について説明。
- ・この効果促進事業を通じて何かしら成果に結びつけられるように、この赤とんぼフェスティバルでも何かきっかけやチャンスを見出したい。10月26日（日）生坂村のホームタウンデーも見据えて、この赤とんぼフェスティバルでの取り組みを活かして広げていくような流れを作りたいと考えているので、営業活動ともいい意味でリンクしながら、当日のブースで普及・啓発をしていきたい、という意見が松本山雅よりあった。

○小水力発電事業について

- ・生坂村脱炭素先行地域事業（仮称）生坂村小水力発電所建設工事の内容として、工事内容、工期、発電機のタイプ及び出力、年間発電量、運用方針について説明。

○令和7年度 省エネ機器導入補助について

- ・村内の一般家庭における、現在までの省エネ機器、木質バイオマスストーブ、太陽光発電設備、太陽集熱器の申請・導入状況について説明。

○その他

- ・他の脱炭素先行地域から視察を受けた内容を、広報で紹介してはどうかという意見があった。
- ・現在行っている脱炭素関係工事の内容は先進的な取り組みなので、看板などで広報してはどうかという意見があった。
- ・PPA事業の太陽光発電及び設置状況について説明があった。
- ・現在行っている公共施設や民間事業所、一般住宅への太陽光パネルの設置は全国でも先進的な取り組みであり、この事業が完成すれば、自治体の中で再生可能エネルギー比率は全国でトップクラスになると思う。この点も、広報していけばどうかという意見があった。